

23日機輸通投第173号
平成23年10月3日

組合員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

「ポスト・メドヴェージェフのロシア」セミナーの開催について

ー成長と需要の見通し、新たな変化に対する日本企業の事業戦略ー

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

リーマン危機後、ロシアはG20諸国の中で最も大きく経済が落ち込むこととなりましたが、2009年以降は回復基調に転じ、特に2011年以降の日本企業のロシア事業の再拡大ぶりには目を見張るものがあります。同時に、足もとでは欧州をはじめとする国際経済・金融情勢の先行きが不透明で、回復基調のロシア市場も腰折れ、低落のリスクが懸念されています。また、プーチン首相が大統領復帰の意志を表明し、ここへ来て改めてポスト・メドヴェージェフ時代のロシアを見通すことが肝要になっています。

こうした状況の中、株式会社野村総合研究所モスクワ支店長の大橋巖氏を講師に迎え、「ポスト・メドヴェージェフのロシア」と題して、ロシア経済・市場の現状と見通しについて、現地日系企業や主要多国籍企業、現地側政府・経済界の構造改革、投資環境整備の動きなどを踏まえ、現地の最新情報を報告いただきます。

つきましては、万障お繰り合わせの上、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

敬具

記

日時：平成23年10月28日（金） 14：00～16：30

場所：機械振興会館 6D-1、2会議室

（東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館6階）

http://www.jmcti.org/jmchomepage/shoukai/shozaichi/chizu/tokyo/tokyo_map.pdf

テーマ：「ポスト・メドヴェージェフのロシア」

- (1) リーマン危機から欧州金融情勢が不安定化する現在までのロシア経済の概況と当面の見通し
- (2) ポスト・メドヴェージェフ時代のロシアの構造改革と成長見通し
- (3) 2015年のロシア市場予測 ～B2B、B2Cでロシア市場はようになる？
- (4) 増加するロシアへの現地生産進出 ～これからのロシアの投資環境と生産進出のKFS
- (5) これからのロシア市場攻略、ロシア事業戦略を考える
(諸事情により一部内容が変更となる場合もございます。)

講師略歴： **野村総合研究所モスクワ支店長 大橋 巖**

上智大学外国語学部卒。ジェトロ勤務（調査部門）を経て2008年から現職。ロシア（ソ連）調査暦28年。うちモスクワ駐在経験は1991～98年、2001～08年、09年～11年と延べ17年に及ぶ。ウィーン比較経済研究所（現・ウィーン国際経済研究所）客員研究員（1988～89年）、明治学院大学非常勤講師（1999～2000年度）。在モスクワ・ジャパンクラブ副会長（2007年度）。ロシア連邦地方発展省企業城下町対策専門家会議メンバー（2010年）。経済団体「実業ロシア」経済戦略提言専門家会議メンバー（2011年）。

野村総合研究所は2008年にモスクワ支店を開設。日本企業のロシア事業戦略に関するリサーチ・コンサルティングのほか、ロシアの経済特区整備や市開発戦略などのプロジェクト受注で実績を重ねている。

会 費：無料（組合員限定）

定 員：80名

申込方法：セミナー参加ご希望の方は、**10月26日（水）**までに、当組合ホームページ下記URL <http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm> よりお申し込み下さい。なお、申込者多数の場合は、締め切りを繰り上げる場合がございます。

*受講票等の発行はございません。セミナー当日は名刺を受付にお渡しくださいますようお願いいたします。

キャンセル方法：10月26日（水）までに下記事務局までメール又は電話にてご連絡願います。

以上

ご不明な点等ございましたら、下記事務局までご連絡下さい。

日本機械輸出組合 通商・投資グループ

Tel 03-3431-9348、Fax 03-3436-6455、<mailto:tohshi@jmcti.or.jp>